

感染症一覧表

●医師記入による意見書(証明書)が必要な感染症

▲保護者記入による登園届が必要な感染症

高木保育園

病名	病原体	好発年齢	潜伏期	症状の特徴及び経過	季節流行	感染しやすい期間	死 産	登園基準	その他注意事項
●麻疹 (はしか)	麻疹ウイルス	7~8ヶ月 2~4歳	7~18日	3~4日間の発熱、咳・ 鼻水・くしゃみ・目やに・ 結膜炎を起こす事もある	一年中みら れる 特に5・6月 に多い	発症1日前から発疹出 現後の4日後まで(空 気・飛沫・接触感染)	終 生	解熱後3日を経過してか ら	肺炎・脳炎・中耳炎などの合併症を起こす 事があるので、治るまで注意する
●水痘 (みずぼうそう)	水痘ウイルス 帯状疱疹ウイル ス	2~6歳	10~21日	発熱不定	冬~春	発疹出現1~2日前から 痂皮形成まで(空気・ 飛沫・接触感染)	終 生	全ての発疹が痂皮になる まで	感染力は極めて強い 帯状疱疹と同じウイル スなので、初めて感染すると水痘になり、 ウイルスは神経節に潜んでいて体調をくず すと帯状疱疹になる
●流行性耳下腺炎 (おたふく)	ムンプスウイル ス	2~7歳に 多い	12~25日	発熱・頭痛・嘔吐・腹痛・食 欲不振などの症状が1~2 日続く	一年中だ が、真夏・ 真冬の2回 ピーク	発症3日前から耳下腺 腫脹後4日(飛沫・接 触感染)	終 生	耳下腺、顎下腺、舌下腺 の腫脹が発現してから5 日を経過するまで、かつ 全身状態が良好になるま	重症になると難聴や髄膜炎を起こす 思春期以降は睾丸炎・卵巣炎を起こし、男 女共に不妊症になることもある
●風疹 (三日ばしか)	風疹ウイルス	2~4歳	14日~23 日	発熱とともに発疹がでる	1~5月	発疹出現前7日~出現 後7日間くらい(飛沫・ 接触感染)	終 生	発疹が消失してから	脳炎や紫斑病を起こす事もある 妊娠初期の人が感染すると先天性異常児 の出生率が高い
●百日咳	百日咳菌	乳幼児	5~12日	風邪症状	秋	抗菌剤を服用しない場 合、咳出現後3週間を経 過するまで(飛沫・接触 感染)	終 生	特有の咳が消失するまで 又は5日間の適正な抗菌 物質製剤による治療を終 了するまで	激しい咳は3~4週間 肺炎、脳症を起こすこともある
●流行性角結膜炎 (はやり目)	アデノウイルス 8・19・37型		2~14日	目がゴロゴロして痛くて、 痒い	1年中 特に夏~秋	充血、目やに等、症状 が出現した数日間(接 触・飛沫感染)		感染力が非常に強いた め、結膜炎の症状が消失 してから	集団発生することがある 角膜炎を起こし、稀に視力低下あり ウイルスは1か月排泄させる 手洗い励行
●咽頭結膜熱 (プール熱)	アデノウイルス 3・4・7・11型		2~14日	39℃前後の発熱、咽頭炎 が3~7日続く	夏	発熱、充血等症状が出 現した数日間 (飛沫・接触感染)		主な症状が消え、2日経 過してから	冬でも流行することがある 治った後も便の中にウイルスが30日間程度 排泄される
●インフルエンザ	インフルエンザ ウイルス		1~3日	突然の高熱、咳、咽頭痛、 頭痛、嘔吐、下痢を伴う 倦怠感	秋~冬	発症前1日~発病後3日 までが感染力強い(飛 沫・接触感染)		発症した後5日を経過し、 かつ解熱した後3日を経 過するまで	脳炎・肺炎・熱性けいれんの合併症に注意
●手足口病	コクサッキーウイル スA群16・6・10 型 エンテロウイル ス71型	1~2歳	3~6日	水疱性の発疹が口腔粘 膜、四肢末端に出現	夏	手足や口腔内に水疱、 潰瘍が発症した数日間 (飛沫・接触・経口感染)		発熱や口腔内の水疱、潰 瘍の影響がなく、普段の 食事ができること	回復後も呼吸器から1~2週間、糞便から2 ~4週間ウイルスが排泄される エンテロウイルス→髄膜炎、脳炎・コク サッキーA6型→爪剥離みられることがある
●伝染性膿痂疹 (とびひ)	黄色ブドウ球菌 溶血性連鎖球菌		2~10日	皮膚が赤くなり、次第に米 粒大の水疱になり、大きく なっていく	夏	効果的治療開始後24時 間まで(接触感染)		皮疹が乾燥している 患部を全て覆えること 広範囲の場合休園	急性腎炎の合併症を起こす事もある 治癒するまではプールは禁止する
▲突発性発疹	ヒトヘルペスウ イルス6・7型	1歳以下が 多い	約10日	突然38℃以上の高熱が約 3日続く 軟便になることある		発熱中は感染力あり (飛沫・経口・接触感染)		解熱し機嫌が良く、全身 状態が良いこと	4~5日位で自然治癒する 2回罹患することもある
▲伝染性紅斑 (リンゴ病)	ヒトパルボウイル スB19	幼児~学童	4日~14日	発熱は37℃くらい 顔・両 頬に紅斑(蝶のような形)	冬~春	発赤疹出現前1週間 (飛沫感染)		全身状態が良いこと 発疹出現時には感染力 は消失している	アレルギーと間違ひやすい 手足に網目状の紅斑が出る事もある 妊婦の罹患により流産等起こる
▲溶連菌感染症	溶血性連鎖球 菌	幼児~学童	2~5日	高熱の半日後、首、胸、下 肢に掻痒感のある粟粒大 の発疹		適切な抗菌薬治療を 開始する前と開始後1日間 (飛沫・接触感染)		抗菌薬内服後24~48時 間経過していること	腎炎、リウマチ熱などの合併症に注意 抗菌薬を指示通り最後まで飲む
▲ヘルパンギーナ	コクサッキーウ イルスA群	1~4歳児に 好発	3~6日	38℃~40℃の高熱が 1~3日続く	夏(6月~8 月)	急性期の数日間(便の 中1か月程度ウイルスを 排泄している(飛沫・接 触・経口感染)		発熱や口腔内の水疱、潰 瘍の影響がなく、普段の 食事がとれること	咽頭痛、嚥下痛がひどくなり、食事、水分が 取れず、脱水症になることもある 回復後 も呼吸器から1~2週間、糞便から2~4週間 ウイルスが排泄される

★ 感染症の病気にかかった時は、速やかに医師の治療を受けてください。

●印の感染症に罹患した際、治癒の診断を受け、医師の意見書(証明書)を持参の上、登園となります。(用紙はコピーしてお使いください。医療機関にある学校医会の証明書でもOKです。)<医師記入>

▲印の感染症に罹患した際、医師から登園の許可を得て、登園届に保護者が記入し持参の上、登園するようにお願い致します。(用紙はコピーしてお使いください。)<保護者記入>